



## 四季の「山の辺の道」に記紀・万葉の風景を観る ウォークイベント「てくてくてんり」

天理市街の東部、大和青垣の山すそを縫う「山の辺の道」周辺は、日本の国家発祥期の数多くの歴史的文化遺産が散りばめられ、古事記・日本書紀、そして万葉集のまほろばの風景を今に伝える。

この物語にあふれた世界を、直に歩くウォークイベント「てくてくてんり」が、4月の植物観察ウォークを皮切りに年8回の予定で開催されている。

これは、天理市や観光協会、商工会等々の多くの団体が構成された「てくてくてんり実行委員会」（事務局：天理市観光課内）が中心となり、昨年度から実施されているもので、元々は山の辺の道周辺を歩く4千人規模の催し「ウォーキングフェスタ」として、平成7年以降毎年開催されてきたイベントを軸に、さらに情報発信力やブランド力を高めるため、四季折々の天理の情景を楽しんでもらおうと、毎年単発で行われていた他のイベントもまとめて「てくてくてんり」として発展させたものである。

山の辺の道周辺は、訪れる観光客数も、県内では奈良市内に次ぐ水準で、三角縁神獣鏡が33面出土して注目された黒塚古墳や、七支刀（国宝）で知られる石上神宮、また、数々の陵墓等が点在する他、日本の原風景とも言える里山、農村風景

が広がる。

今後のイベントとしては、9月に、奈良学研究者青山茂氏、天理参考館顧問近江昌司氏による講演と、現地講座（ハイキング）が2日にわたり行われる他、来年1月の野鳥観察まで、合計4回開催される。

今年度から、奈良県の施策として「記紀・万葉プロジェクト」がスタートしたが、同実行委員会では、これと呼応して情報発信を積極化し、天理をアピールする方針である。（山城 満）



### ■ 詳しいお問い合わせ先・ホームページ

てくてくてんり実行委員会事務局（天理市観光課内）

TEL：0743-63-1001（内線 207・208）

URL：<http://www.city.tenri.nara.jp/kanko/teku.html>

### ■ 23年度今後の「てくてくてんり」のイベント日程

イベント	日程【受付】	定員	集合・解散	参加費	内容
文化歴史探訪	9月17日（土）・18日（日） 【受付8月15日（月）～】	2日間通し 250人 18日のみ50人	17日天理市文化センター 18日天理駅	無料	奈良学研究者青山氏と天理参考館顧問近江氏による講演。1日目は文化センターで講演会、2日目は現地ハイキング。今年のテーマは「記・紀」。
柿収穫 ウォーク	10月8日（土） 【受付9月1日（木）～】	50人	長柄駅→柿畑・ 観光農園→天理駅	200円	刀根（とね）早生発祥の地である萱生町の柿畑にて柿の収穫を体験。山の辺の道を散策後、天理観光農園にて渋抜きも体験。
ウォーキング フェスタ 2011	11月12日（土） 【当日受付】	定員なし	天理駅→市内 →天理駅	無料・ 一部有料	親子向け、一般向けなど様々なコースで秋の天理を堪能。あわ餅振る舞いや農業体験、酒蔵見学などイベントが目白押し。
野鳥観察	24年1月28日（土） 【受付12月26日（月）～】	100人	未定	無料	日本野鳥の会から講師を招き、山の辺の道周辺に生息するツグミやモズ、オシドリやカイツブリなど冬の野鳥を観察しながら歩く。